

◆ 日本経済新聞

<http://www.nikkei.com/article/DGXLZO05305580W6A720C1TJC000/>

▼ International

# 日本経済新聞

2016年8月1日 (月)

Web刊 速報 ビジネスリーダー マーケット テクノロジー **アジア** スポーツ N マネー N ライフ  
トップ 東アジア▼ 東南アジア▼ 南アジア▼ オセアニア▼ 中央アジアなど▼ コラム

アジア > アジアニュース

## 中国の汚水処理事業、日本企業が参画 総事業費115億円

2016/7/26 23:45

     その他▼

【上海＝小高航】中国の同済大学（上海市）と日本貿易振興機構（ジェトロ）は26日、同済大が河北省で受託した化学・医薬工場の汚水処理事業に日本企業が参画すると発表した。三菱商事などが出資する水 i n g（スイング、東京・港）が水処理技術を提供し、旭化成が浄化フィルターを供給する。総事業費は約7億2千万円（約115億円）。

河北省滄州の化学・医薬工業団地で1日10万トンの浄化能力を持つ汚水処理施設を新設する。同済大の「国際グリーン産業イノベーションセンター」が事業の推進を受託。建設は日系の環境コンサル会社、上海清環環保科技を中心に日本企業が請け負う。

     その他▼

[< 電子版トップ](#) [< アジアトップ](#)

2016年7月27日掲載

# 中国で汚水処理計画

## 旭化成など処理場の運営支援

【上海＝吉水暁】日系企業を中心とする汚水処理プロジェクトが中国で始まる。日中の産学連携組織である同済国際グリーン産業イノベーションセンター(TIGIIC)が、滄州臨港経済技術開発区(河北省)との間で

汚水処理場新設に協力することで合意。26日、上海市内で調印式を実施した。旭化成や水iningが処理場の運営をサポートしていく。

脊、専業の米PCTと技術提携契約を締結。世界トップクラスの再生医療細胞受託開発・生産事業者を目指す。急成長が予測される再生医療市場だが、競争も激しいだけに高い生産性を追求する。こうした中長期戦略を通して25年頃には売上構成比を10%とし、基盤事業の一つに育てる。

旭化成、水ining、上海清環环保科技有限公司の3社が主体。日本の水処理技術・製品を提供、開発区内の化学・医薬品工場の排水を適切に処理



調印後に握手するTIGIICと開発区の代表者

する体制を実現する。旭化成は膜ろ過設備だけでなく試験設備も現地に構築し、ソフト面からも取り組みを応援する(同社)。国家級の開発区である同区は、入居企業が増えたとともに汚水処理場の増設が必要となっている。ただ、医薬品や化学品など処理が難しい案件が多いことからTIGIICと協力することを決定した。8月にも新組織を立ち上げ実務にあたる方針。

# 精塔

たまたま、珍しい物を運んでいるタンクローリーの後ろを車で走った。珍しいと言うからには、石油やガスではない。ある日はコンクリート混和剤、そしてその翌週は尿素水だった。尿素水はほぼ円筒形、混和剤のタンクは天地にややひしゃげた円筒形。後で調べてみると、この断面の形の差には安全上の理由がある▼コンクリート混和剤も尿素水も一般人はほとんど知らないだろう。助手席に座っていた家内の反応も「そんな名前、初めて聞いた」だった。だから「写真を撮っておいて」と頼むと、「なんで。」と返された。たまたま出会ったこの2つの化学品だけでなく、タンクローリーで運ばれている化学品は想像以上の種類に及ぶのだろう▼もうひとつ発見。どちらのローリーにも、「東芝印刷装置サービス」のステッカーが